

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者古川建三

JR東労組

本部OB会

ニュース

No. 223 2016年 1月発行

「こころ新たに仲間と共に」



JR東労組OB会

会長 古川建三

OB会員・エルダー会員のみなさん、明けましておめでとございます。

会員のみなさんやJR東労組のご協力をいただき、活動方針を着実に実行出来ていることに感謝申し上げます。

本部OB会は、今年一年更に仲間を信じて、こころも新たに組織の強化・拡大に向けて前進していくことをお誓い申し上げます。

テロも戦争も絶対反対です

パリ同時多発テロやエジプトでのロシア旅客機墜落は、多くの人々に恐怖と強い怒りを与えました。戦争行為と同様に、暴力や武力で問題を解決することは決してありません。軍備増強は次の軍事力を生み、際限のない軍拡競争になってしまいます。

迎春



にも関わらず暴走する安倍政権は、違憲甚だしい「戦争法」を暴力的な国会運営で成立させました。

さらに、憲法改正のアドバルーンをあげ、テロを利用して次なる緊急事態法・共謀罪を成立させる魂胆が見え隠れしています。

憲法9条を改正しなくとも、独裁政治を断行できる体制づくりを目指してきている姿勢は、まさにナチスヒットラーを彷彿させる「戦後最悪内閣」と言えます。

OB会は昨年戦後70年の節目の年にあたり、「我らの声」に戦争の愚かさや訴える特集記事を掲載したり、9条連の会員として駅頭や街中で平和運動に汗を流してまいりました。また年末には、「ご家族のみなさんを含め75名で、沖縄の県民の皆様と共に辺野古で新基地建設反対の行動も実施する事ができたことは、大変意義のあることでした。

戦争を経験することなく生きられた時代のOBとして、未来ある世代の人達のために、今こそ行動する時だと思えます。今後も現役のみなさんと共に、「平和なくして幸福・福祉なし」という想いで、OB会運動を愚直に展開していくこととします。

いのちと人権を大切に政治をとり戻そう

日本退職者連合（略称・日退連）は、社会保障費の減額に反対しています。そもそも少子高齢化社会のなかで社会保障費の自然増は、寿命をのばす補償費であるべきで、抑制することは許されません。

また、年金制度・医療制度も改悪させるなど、高齢者が大切にされる社会にはほど遠い現状にあります。

今の安倍政権の顔は、一般国民を見ず、米国とグローバル企業にしか向いています。だからこそ、早急に安倍自民政権に代わる新しい政権を確立しなければなりません。

リベラル派の先頭を走る「われらのたしろかおる参議院議員」を最大限支援するために、後援会活動をしつかりと支えて行く事をお願いします。

希望ある年にするために健康第一で

東京電力福島第一原発事故から丸5年を迎える今年には、より脱原発運動を展開していかなければなりません。時間の経過と共に、原発事故を風化させる道へ辿らせてはなりません。JR東労組は「JR東日本の奇跡を生んだ組合員の声」や防災・減災フォーラム等で、いのちを守るために「自助・共助・公助」の防災基本を確立しました。これは

すこく大切なことであり、OB会としても今後参考にしていきたいと思えます。私たちが自然の中に生かされていますから、自然と共生しながら仲間とも共助しつつ、社会保障の確立を求めて、自らも長生きする努力をしなければなりません。その為にはOB会活動に目標を持ち、外にも目を向け、趣味を持ち、みずみずしい心を失わず、時々自分を見つめ直しながら足腰を鍛えることではないでしょうか。OB会員の皆さまのご健勝とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い致します

- 顧問 大熊勝明
- 会長 古川建三
- 副会長 佐々木源幸
- 副会長 廣瀬隆之
- 副会長 戸谷富男
- 副会長 竹島敏博
- 事務局長 伊藤義男
- 事務局次長 本田祥章
- 事務局次長 川崎昭雄
- 事務局次長 植松健
- OB担当 森優
- 担当書記 鈴木佳織

二〇一六年

元旦



新年のあいさつ

参議院議員 たしろ かおる

新年明けましておめでとう
ございます。

2016年は、日本の将来を左右する重要な年です。新しい年を迎えるにあたって、私は改めてOB会員とご家族の皆さんのご期待に添えるよう、国政において全力を尽くしていく決意を新たに致しました。

この一年私たちを取り巻く状況は大変厳しく、昨一年間で大きく変化した政治状況や社会状況のもと、ひとつひとつ運動を積み上げて、私たちが求める社会に変えていかなければならないと考えています。

そのためにも私が最優先にしなければならぬことは、昨年7



月19日3・11東日本大震災と福島第一原発事故で大きな被害を受けたOB会員とお会いするため、OB会の皆様と南相馬市を訪れた時の気持ちを忘れずに、脱原発社会を一日でも早く実現していく事だと思っています。

平和な社会の実現を

また昨年の憲法違反の安保関連法の成立をもって、再び戦争という最悪の航路に舵をきった日本を、何としても戦争をしない平和な日本に取り戻すために、舵を切り直さねばなりません。

戦争のない平和な社会の実現のためには、そこで暮らす人々が安心して生活を送ることの出来る社会にしなければなりません。

温もりのある社会を

そのために、交通基本法にもとづいて、高齢者や弱者など誰もが

安心して利用できる公共交通の確立を目指します。

そのことが、老若男女、障がいのある人もない人も、安心して暮らせる日本にするための、明るい未来を切り開く道になることを信じて疑いません。

みんなの声を国会へ

私は新年にあたり、JR総連・JR東労組の組織内議員として組合員、OB会員そして家族の皆さんと共に、平和・人権・民主主義の確立した脱原発社会、えん罪ゼロ社会、そして高齢者に優しい社会の日本をつくるために、皆さまの先頭でたたかう事を決意します。

共に、頑張りましょう！

2016年1月

公設秘書

- 佐々木 求
- 富山 浩信
- 司馬 俊枝
- 井筒 高雄



今年もよろしくお願ひいたします

年頭のあいさつ

連合と連携し、参議院選挙に勝利して
政治の流れを変えよう！



日本退職者連合
会長 阿部保吉

会員ならびにご家族の皆様、2016年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の通常国会で闘った安全保障関連法案は、政府与党の強行採決により成立しました。しかし、この法律は明らかに憲法違反であり、そのまま放置することは許されません。この国会では民主党が主体となり、安全保障関連法の廃止を提案し、国会論議を通して国民に強く訴えて欲しいと思います。

また先の国会では、労働者派遣法の改悪案も強行採決されました。生涯派遣で低賃金の労働者は、老後の保障もなく、やがて生活破綻に追い込まれることとなります。更に、今国会に提出が想定される労働基準法改悪に反対すると共に、雇用と社会保障の一体で取り組みを進めてまいります。

平和と民主主義、安心・信頼の社会保障制度の確立をめざし、来る参議院選挙では連合候補の必勝はもとより、選挙区選挙の推薦候補必勝に向け、共に頑張ることを表明し挨拶いたします。

2016年1月1日